

重

おいでませ！「宿泊者数500万人戦略」

点

平成30年に迎える明治維新150年を契機として、全国に誇る歴史文化、食、温泉など、本県の魅力を生かしたプロモーションを展開するとともに、経済効果の高い外国人観光客やクルーズ船誘致の積極的な推進により、年間延べ宿泊者数500万人の実現を図ります。

戦

プロジェクト

- ◇明治維新150年を契機とする観光需要の拡大
- ◇インバウンド新時代に向けた国際観光の推進
- ◇クルーズ船の誘致推進

略

プロジェクト	No	明治維新150年を契機とする観光需要の拡大
	1	

目標	「明治維新」の観光ブランド化による宿泊客の増加 ≪ 年間延べ宿泊者数500万人以上 ≫
----	--

現状と課題

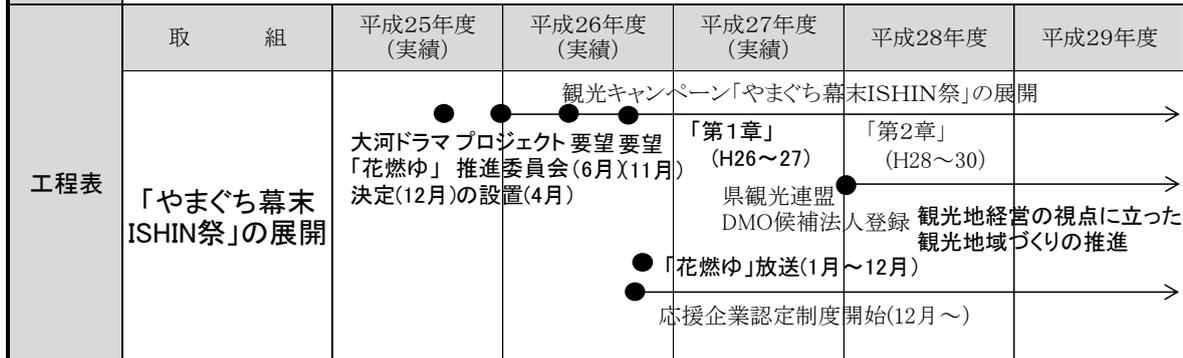
- 「自然・景勝地」をはじめとする観光資源が豊富
 - ・秋吉台や錦帯橋、角島、元乃隅稲成神社等の世界に誇る自然・景勝地のほか、世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」、幕末期の建造物等の歴史文化に由来する資産、ふくをはじめとする食の魅力
- 山口県をイメージするブランド力が不足
- 大河ドラマ「花燃ゆ」の平成27年放送が決定
- 観光客のニーズを踏まえた観光地域づくりの取組体制、取組が不十分

取組方針

- 明治維新150年に向けて、官民一体となった推進体制のもと、「幕末ISHIN祭」を展開します。
- 「幕末維新やまぐちデスティネーションキャンペーン」を展開し、全国からの誘客を図ります。
- やまぐちDMOの形成・確立により、観光地経営の視点に立った観光地域づくりを進めます。
- 本県の強みを活かしたブランドイメージの確立を図り、プロモーション活動を強化します。
- 「維新」をコンセプトとして、多彩な観光資源を組み合わせた観光ルート等の開発を進めます。
- 「平成の薩長土肥連合」の4県が共同したプロジェクトを展開します。

具体的な取組

取組	<input type="checkbox"/> 「やまぐち幕末ISHIN祭」の展開 <ul style="list-style-type: none"> ・「やまぐち幕末ISHIN祭プロジェクト推進委員会」による全県的な展開の推進 ・やまぐちDMOの形成・確立に向けた取組の推進 ・応援企業認定制度を通じた企業との連携 <input type="checkbox"/> 「幕末維新やまぐちデスティネーションキャンペーン」の展開 <ul style="list-style-type: none"> ・ターゲットに対する訴求力の高いキャンペーンテーマを設定したプロモーション活動 <input type="checkbox"/> 「維新ブランド」の構築とプロモーションの強化 <ul style="list-style-type: none"> ・メディア等を活用した戦略的な情報発信 ・航空キャリアや応援企業認定制度による企業と連携したプロモーション活動 <input type="checkbox"/> 「維新ツーリズム」の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ストーリー性、テーマ性のある周遊ルートや旅行商品の開発促進 ・「全県周遊型観光アプリ」の運用や「全県周遊型パスポートブック」の充実 ・周遊促進に向けた二次交通アクセス等の充実 ・「明治維新150年」を活用したコンベンション等の誘致活動の強化 ・「明治150年」に向けた機運醸成等の強化 ・明治維新150年記念事業として、「全国都市緑化やまぐちフェア」(愛称:山口ゆめ花博)を開催(平成30年9月14日～11月4日) <input type="checkbox"/> 「平成の薩長土肥連合」の展開 <ul style="list-style-type: none"> ・大都市圏でのメディアを対象とした情報発信や観光PRイベント等の展開 ・4県を巡るスタンプラリーの実施等、広域観光コースの造成 					
	工程表	取組	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度



取組	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度	平成29年度
「幕末維新やまぐちデスティネーションキャンペーン」の展開	「デスティネーションキャンペーン(DC)」の展開		H29年の開催決定	推進体制の確立 ● 首都圏・大都市圏での情報発信会の開催	● プレDCの開催(10～12月) ● DC本番(9～12月) ● 全国宣伝販売促進会議 ● DCロゴマーク、キャッチフレーズ発表
「維新ブランド」の構築とプロモーションの強化	メディア等を活用した戦略的な情報発信	「明治維新」をテーマとした観光ブランドの構築(専用HPの開設、交通事業者とのタイアップ)		● ISHIN祭第2章メインキャラクター発表	
「維新ツーリズム」の推進	フィルムコミッションの強化及びロケ地誘致の推進				
	<周遊ルートや旅行商品の開発促進>				
	● 大河ドラマ館整備支援 ● 萩市・防府市でオープン(1月～12月)				
	● 宣伝素材・パスポートブックの作成、おもてなしの充実 ● 「サイクル県やまぐち」等のツーリズムの推進				
	<二次交通アクセス等の充実>				
「平成の薩長土肥連合」の展開	● アクセス状況調査 ● 二次交通アクセス改善策の検討・実施				
	<MICEの誘致活動の強化>				
	● 専門職員の配置(4月)	● 検索サイト開設(5月)		● 内容充実(受入施設情報等)	
	● 誘致支援 ● 大型学術会議等の誘致獲得				
	<明治150年を記念した取組の推進>				
		● 山口県推進協議会設置 ● シンポジウムの開催(11月)	● 山口県・ロゴ・シンボルマークの作成(10月) ● WEBサイトによる情報発信(10月) ● フォーラムの開催(1月)	● 薩長土肥フォーラム(東京) ● 若者をターゲットとした意識啓発 ● 明治150年を記念する映像コンテンツの制作	
	● 全国都市緑化フェア誘致に向けた取組(基本構想策定、国土交通大臣協議)		● 大臣同意(3月)	● 実行委員会設立(11月)	● 開催に向けた取組
	● 関係4県連絡会議(総会)の開催(2月)	● 連絡会議(総会、PT)の開催	● 「平成の薩長土肥連合」の設立 ● 共同プロモーション等の展開		
			● スタンプラリーの実施(H28.1月～H30.12月)		

事業の概要

年度	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)
推進体制	やまぐち幕末ISHIN祭プロジェクト推進委員会 官民一体(行政、観光・商工・交通運輸・宿泊旅行関係団体等)で構成				
キャンペーン	やまぐち幕末ISHIN祭の展開 ~第1章~ (H26~H27) ~第2章~ (H28~H30)				
取組の方向性	明治維新150年を契機とする観光需要の拡大 ◆「明治維新」を活用した観光ブランドの確立と誘客の拡大				
トピック等	・大河ドラマ放送決定	・大河ドラマ放送 ・世界ユネスコ遺産登録 ・世界遺産登録 ・日本ユネスコ認定 ・ねんりんっカ	・星野リゾート長門市進出協定 ・DMO候補法人登録 ・平成の薩長土肥連合 ・プレDC・全国宣伝販売促進会議 ・国際定期便就航 ・国際チャーター便増便	・「平成の薩長土肥連合」の設立 ・共同プロモーション等の展開 ・スタンプラリーの実施(H28.1月～H30.12月)	以下を活用し、継続的なキャンペーンを展開 ・平成の薩長土肥連合 ・幕末維新関係周年行事 ・幕末維新やまぐちデスティネーションキャンペーン ・JR西日本豪華寝台列車「TWILIGHT EXPRESS瑞風」 ・JR西日本SLやまぐち号(旧型客車の復刻等) ・JR西日本山陰線新たな観光列車 ・明治150年記念式典 ・全国都市緑化やまぐちフェア(愛称:山口ゆめ花博)

取組	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度	平成29年度
外国人観光客の受入環境の整備・充実	ホテル等受入施設の拡大、観光案内設備等の充実			●	→
	留学生ネットワークの構築・活用による受入体制強化				→
国際航空路線等の定着・充実	国際定期便誘致に向けた誘致活動の展開				→
	国際連続チャーター便(韓国) 10往復	22往復	46往復	●	→
東京オリンピック・パラリンピック競技大会等を視野に入れた取組の推進	<大会・キャンプ地等の誘致>		●	→	→
	<誘客推進>			●	→
世界文化遺産等の効果的な活用	<世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」>	●	●	●	→
	<日本遺産>			●	→

事業の概要

外国人延べ宿泊者数の飛躍的拡大 (4万人→20万人)



◆海外(現地)に訴求する強力なプロモーション



◆受入環境整備



プロジェクト	No	クルーズ船の誘致推進
	3	

目標	<ul style="list-style-type: none"> ・クルーズ船寄港回数の飛躍的拡大 <<H32年 40回以上>> ・大型クルーズ船(7万トン級以上、定員1,000人超)の継続寄港の実現
----	--

現状と課題

- クルーズ船利用者は、近年、世界的な市場拡大や船舶の大型化を背景に着実に増加
- 本県は、三方を海に開かれ、大小多くの良好な港を抱えており、それぞれの港の背後地には多彩な観光地が存在
- 平成27年の世界文化遺産登録、平成30年には明治維新150年を迎えるなど、本県の注目度を飛躍的に向上させる絶好の時期
- クルーズ船誘致に向けては、県、市町、関係機関が一丸となって、船社等へ観光地、イベント、港湾施設等の情報発信を行い、戦略的なセールスを展開することが不可欠

取組方針

- 県、市町、関係機関と連携して推進体制を構築し、船社等へのニーズに対応するほか、一丸となった誘致活動を推進します。
- 県内の観光地やイベント、港湾情報等をデータベース化し、情報発信するなど、戦略的なセールス活動を展開します。
- 港湾施設の一般開放による住民参加のイベント開催や、市町等の広域連携によるおもてなしの支援、消費税免税店の設置等、寄港時におけるおもてなしの向上に努めます。
- 大型クルーズ船(7万トン級以上、定員1,000人超)の航行安全を検討し、寄港環境を整備します。

具体的な取組

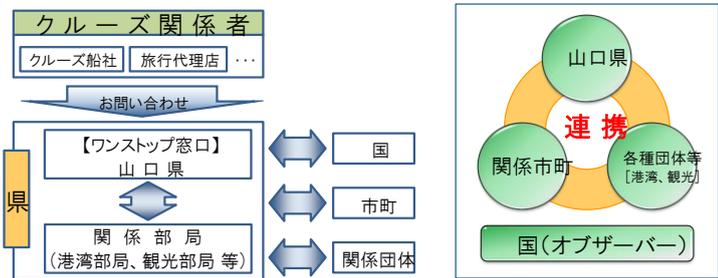
取組	<ul style="list-style-type: none"> □ 県、市町、関係機関が一丸となった誘致活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 県、市町、関係団体等による「クルーズやまぐち協議会」の設置 ・ 船社等への情報発信・誘致活動、「ワンストップ窓口」の設置 □ 船社等への港湾情報、観光地、各種イベント等の情報発信、戦略的なセールス活動の展開 <ul style="list-style-type: none"> ・ 専用ホームページによる情報発信 ・ 国内外の船社等への戦略的なセールス活動の展開 ・ 「世界文化遺産」、「明治維新150年」などテーマ性のあるクルーズ向け周遊ルート開発 ・ 港湾・観光情報を一冊にまとめたクルーズ船寄港のためのガイドブックの作成 ・ 船内食事への県産品等の売り込み □ 寄港時におけるおもてなしの向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 寄港時の港湾施設の一般開放の検討 ・ 市町等の広域連携によるおもてなしの取組への支援 ・ 外国クルーズ船寄港時における消費税免税店の設置検討・実施 □ 大型船寄港環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 大型クルーズ船の航行安全の検討、係留施設の改修(下関港、岩国港) 					
	工程表	取組	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度
	県、市町、関係機関が一丸となった誘致活動の推進	クルーズやまぐち協議会の設置・第1回協議会の開催(7月)	●	● (年2回程度開催)	●	● (県、市町、関係団体等連携強化)
			●	●	●	● (ノウハウの蓄積による対応のスピード化)

取組	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度	平成29年度
	船社等への港湾情報、観光地、各種イベント等の情報発信、戦略的なセールス活動の展開	専用HPの開設(4月)	情報発信会の開催(11月)	クルーズ向け周遊ルートの開発(11月)	寄港ガイドブックの作成 日本語版(11月) 外国語版(3月)
寄港時におけるおもてなしの向上	シンガポール(10月)	海外見本市への参加	米国(3月)	米国(3月)	米国(3月)
大型船寄港環境の整備	岩国港の航行安全の検討・委員会の開催【7万トン級、13万トン級で検討】	第1回(2月)	第2回(11月)	大型船(7万トン級)の寄港が可能	大型船(13万トン級)の寄港が可能 大型船(22万トン級)の寄港が可能

工程表

事業の概要

全県推進体制の整備



「ワンストップ窓口」の設置 (H26.4) 「クルーズやまぐち協議会」の設置 (H26.7)

誘致活動の推進

情報発信会の開催 (東京H26.11)

海外見本市への参加 (マイアミH27.3)

クルーズやまぐち寄港ガイドブック

寄港ガイドブックの作成 日本語版H26.11 外国語版H27.3

おもてなしの向上

”クルーズやまぐち”おもてなし向上事業(平成27年度～)

- 【事業概要】
- 複数の市町等が連携して実施するおもてなしの取組への支援
- 寄港時の港湾施設の一般開放に伴う保安対策



市町等の広域連携によるおもてなし

港湾施設の一般開放による市民参加イベントの開催



ウェルカムセレモニー・伝統芸能の披露

Japan. Tax-free Shop

寄港時における免税店の設置 検討・実施 (H27以降)

大型船寄港環境の整備



7万トン級 (サン・プリンセス 等)



13万トン級 (マリナー・オブ・ザ・シーズ 等)

クルーズ船寄港回数の飛躍的拡大

大型クルーズ船(7万トン級以上 定員1,000人超)の継続寄港の実現